

部活動の思い出

陸上部

僕たち陸上部の三年生は自ら動くばかりではありませんでした。けれど、他校のライバルなどと競って自己ベストを更新していきたくて、自己ベストを更新することで周りの人のやる気も上がりました。これも陸上の楽しさの一つだと思います。陸上では、一人一人の目標を持ち、仲間とともに目標を達成していきたくて、一番楽しいことだと思っています。僕は、二年生の時、ほぼ記録が伸びませんでした。記録が伸びない時は、そのときの悔しさを思い出し練習を続けていきました。二年生の新人大会で自己ベストが出ました。そのときはただただ嬉しかったです。僕は部活で達成したときの嬉しさや負けたときの悔しさなどを学びました。



野球部

「やればできる」この言葉は野球部のスローガンです。一人一人がこの言葉を忘れずに頑張りました。最初はとも弱チームでした。しかし少しずつ試合で勝てるようになりまし。それは三森先生の指導のおかげです。また、目標を持ってチーム皆が一つになったから強くなることができたと思います。

そして、加賀地区大会がありました。一日目の試合は本当に良い試合ができました。延長十回まで戦いました。東和らしい粘り強い試合をし、勝つことができました。二日目は惜しくも負けてしまいました。でも悔しいはありません。一人一人の気持ちでつかんだ一勝だったと思います。ここまで頑張ってきたよかったです。

最後に、野球部に関わった指導者、地域の方々、一緒に頑張ってきた最高の仲間たちに感謝の気持ちをお伝えし、これからも頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。



バスケットボール部

僕がこの二年間で学んだこと

がんばれたのは、優しく、ときに厳しく指導してくださった先生やコーチ。いつも支えてくれた家族。アドバイスをしてくださった先輩。応援してくれた後輩。本当にありがとうございました。

ソフトボール部

私たちがソフトボール部は、元気で仲間とぶつかることもあったけど、大事な部分で力を合わせることもできるチームでした。その団結力で練習や大会を重ねてきました。

私がソフトボール部に入って少ししたら三年の先輩が引退し、二年の先輩を中心として大会では勝ち負けを繰り返していききました。私が一年の時はミスばかりして先輩達に怒られてばかりでした。だけど、その怒ってもらったことがこのチームに大切な事だと思えます。こんなふうに言えるのも先輩のおかげです。ときには涙を流すことがありましたが、すべて支え合って、乗り越えてきました。

そして三年最後の加賀地区大会を終えました。十八日に津幡南と試合してききました。ピッチャーの球が速く、打つ音が響いてきました。



卓球部

僕達が入ったとき、東和中学校は、加賀市で一位のチームでした。三年生が引退してから新たな目標をたてました。それは「団体戦県大会の出場」です。その後、先輩達が市大会で優勝したのを受け継ぎ、優勝をしました。そして、自分たちが二年生のときは、県大会で負けてしまい、先輩達は引退して僕らの代になり、僕は先輩達と一緒に目標を「北信越団体出場」にしました。その目標を果せるように日々練習を重ねています。

そして、ついに北信越につなげる地区大会で、一回戦は厳しい試合になりましたが、県大会に出場することができました。最終目標の北信越出場に向けて、これからの練習も大切にしていきたいです。



は、二つあります。一つ目は、何でもまじめにやる姿勢です。僕は、中学校のバスケットに出会うまで、まじめにやったスポーツがありませんでした。でも、バスケットをまじめにやっていると、すごく楽しくて、毎日部活に行くのが楽しかったです。時には怒られたりしたけど、できたときにほめられるのは、その二倍くらいうれしかったです。でも、ほめられても認められたことはないの、高校になってもバスケットを続け、また会ったときに、認められるような選手になりたいと思いました。

二つ目は、仲間の大切さです。理由は、仲間がいなければ、ここまでくることができなかったからです。いつもみんなでバスケットをしている時間が一番楽しかったので、仲間は大切だと思えました。いままでも、アドバイスをくれた澤井先生、江口先生、松下先生、山中先生には、すごく感謝しています。

男子バレーボール部

僕たち男子バレー部の三年生は、まじめにするとときもあればふざけるとときもありました。だけど、みんな協力し、試合に勝ったときのよさを知りました。そして、最初の一年生大会

剣道部

僕たち剣道部は、六月十八日、十九日と試合がありました。十八日の個人戦では、三回勝てば、県大会に出られますが、僕は、二回戦で負けてしまいました。最後の試合で負けたので悔しかったです。

十九日は、団体戦がありました。目標は県大会で、一生懸命がんばりました。でも全試合負けてしまいました。これで、最後だと思つと、悔いの残る試合だなと、思いました。でも、今まで一年生から三年生まで教えてくれた小林先生には本当に感謝をしています。それから、坂口先生にもいろんな事を教えてもらって、試合でも、先生から教えてもらって、試合に出るために、練習を頑張っています。



柔道部

加賀地区柔道大会が六月十八日土曜日に、松自総合運動公園柔道場でありました。一回戦は北辰中学校の野中さんと対戦しました。おしかったけど、一回

会では負けてしまった。負けるというくやしさを知りました。そして二年生になり三年生が引退して、僕がキャプテンになることになり、チームのみんなと練習して、二年生の新人戦では三位という結果を残しました。三位になったときはとてもうれしかったです。そして、最後の大会では惜しくも一回戦で負けてしまいました。すごくくやしかったです。僕は部活で多くの事を学べたので、良かったです。

女子バレーボール部

私たちが目標は、新人戦優勝と県大会出場でした。この目標をたてたときは、絶対に達成したい、という気持ちでいっぱいでした。しかし、実際はそんなに簡単ではなく、それに三年生五人では本当に難しいことだと思いました。つらいこともあったけど、試合などで勝ったときの喜びの方が大きく、頑張ってきたと、思えました。負けたときは、毎回たくさんのことを学び、仲間が支えてくれて乗り



戦で負けてしまいました。でも、試合内容とコーチの教えて時間いっぱい戦えたこと、投げられたけど有効ですんだったこと、相手は左でやりにくかったけど、去年の大会よりも良い試合ができて、少し嬉しかったです。応援ありがとうございました。県大会は、もっとがんばります。

水泳部

私たちが水泳部は、三年生三人と一年生一人と人数がとも少ない部です。それぞれ自分の所属している各スイミングクラブで日々厳しい練習をしています。県大会に出場するためには、加賀地区大会で出場制限タイムを切る必要があります。日ごろの練習の結果を十分に発揮し、一発勝負で結果を出してききました。石川県の水泳のレベルは高いといわれています。県大会で上位に残るのは厳しいですが、01秒でも早いタイムを出せるようにがんばっていきたくて、練習を頑張っています。

加賀地区水泳大会が六月十八日土曜日に、松自総合運動公園柔道場でありました。一回戦は北辰中学校の野中さんと対戦しました。おしかったけど、一回

越えることができませんでした。そして、私たちが、新人戦優勝と県大会出場を達成しました。とても嬉しかったです。このメンバーでバレーが出来てよかったので、松原先生には、沢山迷惑をかけたけど、先生のおかげでここまで頑張れました。一・二年生、一緒に戦ってくれてありがとうございました。応援しています。応援してくれたいです。感謝の気持ちでいっぱい입니다。本当にありがとうございました。

ソフトテニス部

私たちが、県大会に出場できるチャンスがあったことがあります。そのときはすごく嬉しい思いをしました。そのときのくやしさをバネに、厳しい練習を日々重ねてきました。その結果、団体戦、個人戦とも県大会に出場することができ、いい結果を残すことができました。私たちがここまで



族、楽しく、そして時には厳しく指導してくださったコーチ、本当にありがとうございました。これからも感謝の気持ちを胸に進んでいきたいです。

体操部

私たちが、六月十一日に加賀地区大会に出場しました。完璧な演技はできませんでしたが、一人一人頑張ることができました。しかし、この大会で新たな課題が二つ見つかりました。一つ目は、日々の練習の十分さです。ちょっとした動きでも、手の先や足の先まで力を入れてやることで、難しい技をするときでもきれいな演技を見せることができると思います。そしてそれが大きな自信につながると思っています。



二つ目は、チームワークが足りなかったことです。大会だけでなく日頃の練習から仲間同士で声をかけ合ったり、励まし合ったりすることで絆が生まれ、勝利につながると思っています。この二つの課題をふまえて、県大会で優勝し、北信越大会でも良い成績を残せるように日々の練習を大切にしていきたいです。